

令和4年度 追桜高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点		かかわる	もどめる	はたす	かかわる			もどめる	はたす	かかわる			もどめる	はたす	かかわる								
各教科指導目標	国語	○	○	地理歴史	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○						
	社会人として生きるために必要とされる総合的な言語能力の基礎を身につけるため、生徒がキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育成する。			様々な社会的事象を歴史的過程と地域的特色の側面から考察し、理解する力を身につけさせることとともに、知識の習得だけにとどまることなく、社会の変化に自ら応応する能力や課題を設定し追求・解決していく力を養う。			現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、知識の習得にとどまらず、社会的事象について観察しながら「公正なるもの」の見方を育成し、課題を調査する力やその成果を表現できる力を養う。			正しい判断をするために主観ではなく客観的な分析が大切であることを理解させる。また互いに協力して合って課題だけにとどまらず、社会的事象について観察しながら「公正なるもの」の見方を育成し、課題を調査する力やその成果を表現できる力を養う。			観察や実験を通して、自然の事物や現象を科学的に探究し、理解する能力を身につけさせるとともに、日常生活の中で生じる様々な課題に対し科学的に思考・判断する力を養う。										
	保健体育	○	○	芸術	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○						
	ルールを守る大切さを学ぶとともに、安全に配慮してスポーツを生涯楽しむ素地を作る。また、普段より健康的な保持増進を考えた生活を送ることを通じて、身体的・精神的に豊かな生活ができるような基礎を作れる。			芸術活動を通して生徒一人一人の個性を高め、豊かな情操を養うとともに、生涯にわたって芸術文化に親しむことで、人間的かつ創造的な生き方を求める心を育む。			外国语によるコミュニケーションにおける見方考え方を動かせ。外国语による言語活動を通して、情報や考え方を的確に理解したり適切に表現したり伝えたりするコミュニケーションを図る實質・能力を育成する。			人の生涯にわたる発達と生活の當みを総合的にとらえ、日常生活の知識と技術の習得を通して、人のかかわり、生き方の探究、社会での役割をはたすことができるよう、男女が協力して生きる力を育んでいく。			情報及び情報技術を活用するための知識と技術を習得させ、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させるとともに、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。										
	福祉	○	○	商業	○	○	農業	○	○	○	工業	○	○	○									
	人間関係形成能力やコミュニケーション能力、課題解決能力を高めるための知識と技術を総合的に体験的に習得し、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的能力と実践的态度を育てる。			商業に関する基礎的基本な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割を理解させるとともに、社会の信頼を得て諸活動に取り組むための倫理観、責任感、協調性など、ビジネスに必要な豊かな人間性を育む。			農業に関する基礎的基本な知識と技術を習得させ、また農業の社会的意義や役割を理解させ、農業に関する諸問題を主体的に、合理的かつ倫理観をもって解決できる創造的能力と実践的态度を育てる。			工業技術者として必要な知識や技術を習得せるとともに、規範意識や倫理観を身につけさせ、ものづくりを通して、自ら創意工夫し、課題解決を図ることができる実践的な態度を育成する。													
	学年共通				かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標															
	朝読書		○		◎			1	年	新しい環境に適応して他者との望ましい人間関係を構築し互いを認め合う心を養い、自らの役割を自覚し積極的に役割を果たせるように支援する。それらを通じて勤労観、職業観等の価値観形成を図り、将来設計を立案し今取り組むべき学習や活動を理解させ、実行させる。													
	玄関指導/清掃点検	○	○		○			2	年	生徒が、明るく伸びやかに心身共に健全な学校生活を送ることを基本として、生徒それぞれの進路実現に向けた実力養成を支援する。LHR・ドリカム・ゼミ等を通じて自己理解・進路理解を深め、社会情勢も視野に入れつつ進路目標実現へ向けて計画的・継続的に実践する態度を養う。													
	共育サポートカレンダー	◎	○		○			3	年	最高学年として校風を築く自觉をもたせながら高校生活を送らせると共に、社会人として必要な礼儀や基本的生活習慣を身につけさせる。また、進路指導部やガイダンス部との連携を密にして、協力・協働体制を確立し、生徒一人一人の進路目標を実現させる。													
	指導内容				ねらい				指導教科等	実施時期		時数	かかわる	もどめる	はたす								
指導内容	高校の学習と自己理解				これまでの自己の学習に対する態度や姿勢を見直させ、高校生として学習への取り組みや、生き方や在り方について考えさせる。				産社	4月		1	◎	○									
	「自分史」作成				今までの自己振り返りとともに、現在の自分がどのような人間であるかを理解させ、将来の展望について考えさせる。				産社	4月		2	○	○	◎								
	キャリアプランニング講座				自己の将来を考えさせ、将来的目標の設定やその達成のための計画や実践の必要性について理解させる。				総探	4月		1	○	○	◎								
	適性・適職診断				適性・適職診断(R-CAP)を活用し、客観的な自己分析を行い自分の興味・関心、適性を探らせる。				総探	4月		1	○	○	◎								
	科目選択				自己の進路決定に向けての意識を高め、将来に向けて高校で何を学習すべきかについて、科目選択を通して深く考えさせる。				産社	4~6月		20	○	○	◎								
	職業人講話				将来の職業選択に向けて、生徒各自が社会の一員として意識を高め、職業への適性を知ることとともに、健全な職業観や勤労意識が養われるようになる。				産社	6~7月		22	◎	○	◎								
	上級学校ガイダンス				進学することで取得可能な資格や進路等について理解を深め、多様な進路選択の中からそれぞれの大学や専門学校等の上級学校を理解させ、視野を広げさせる。				総探	7月		2	○	○	◎								
	ライフプランニング講座				将来の進路選択を実現するための目標設定・計画立ての方を学び、適切な収支管理の方法や仕組み、自己的将来設計に生かすことを理解させる。				総探	7月		2	○	○	◎								
	「ドリカムプラン」作成				これまでの産業社会と関わる学びや体験を通して、自己の将来への展望を明確にさせ、互いに発表し合うことで各自の意識を高めさせる。				産社	8~9月		13	○	○	◎								
	ドリカムプラン発表会				これまでの産業社会と関わる学びや体験を通して、自己の将来への展望を明確にさせ、互いに発表し合うことで自己理解を深める。活動を通じて学んだことを振り返り、今後の目標を考える。				産社	9月		2	○	○	○								
1年	進路ガイダンス				自身の適性をより、どんなことに興味があるか自分になっていきたいのか自分自身を深く見つめなおす機会とする。				特別活動	11~12月		2	○	○	◎								
	総合探究Ⅰ発表会				探究活動の学習成果を共有する。				総探	2月		2	○	○	○								
	自己理解				各自のドリカムプランを再確認し、目標の実現を目指して「ドリカムゼミ」でのようないわゆる取り組み、課題を解いていくべきと考えさせる。				総探	4月		3	○	○	◎								
	職業探究				進路目標ごとに、中等学校や職業についての情報を収集し理解を深め、各自の課題を取り組んで、目標が実現できるようになる。				総探	5~6月		3	○	○	◎								
	ビジネスマナー講座				職場訪問に向けて、社会で仕事をしている方々と信頼を構築していくため必要な知識について学ぶ。				総探	7~9月		4	○	○	◎								
	進路ガイダンス				積極的に情報を集め、進路先を具体的に考える力を養う。中堅年次としては自己を促し、自己実現と希望進路の関係性を理解させる。				特別活動	7~1月		2	○	○	◎								
	地域探究講座Ⅰ～Ⅲ				実社会と関わるために職場訪問を実施し、地域での生活や地域社会貢献の具体例について探し、地域の課題を探究してテーマを設定する。				総探	9~1月		16	○	○	◎								
	表現力・思考力講座				発表に向けてスライドの作成やポスター発表の技術学び、分かりやすく実現できることを説明できるように思考力を深める。				総探	12~1月		8	○	○	◎								
2年	選挙に関する講話				選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、社会や政治に興味・関心を持ち、有権者としての自覚と責任を持って生活できるようになります。				特別活動	2月		1	○	○	◎								
	ものづくり企業見学会				地元製造業の工場を見学することで、地元企業の認知と進路意識の向上を図る。民間就職および公務員希望者を対象に実施する。				特別活動	2月		3	○	○	○								
	先輩の話を聞く会				希望進路を達成した3年生の話を聞かせるとおり、自己の進路について考えを深めさせ、進路意識の向上を図る。				特別活動	2月		1	○	○	○								
	職業・進路研究				進路目標や系列ごとに、3年生として为すべきことを明確にし、各自に相応しい内容の課題に取り組んで、目標が実現できるようにする。				総探	4~7月		20	○	○	○								
	地域探究講座Ⅳ～Ⅴ				外部講師にお招きし、地元企業の取り組みや持続可能な開発目標を実践している企業の取り組みについて理解を深め社会に貢献する姿勢を養う。				総探	6月~12月		4	○	○	○								
3年	進路ガイダンス				進路目標の達成に向け、進路希望者は受験校、出願や入試形態、就職希望者は業種・職種について説明する。				特別活動	7月		1	○	○	○								
	総合探究Ⅲ発表会				各系別課題解決型の探究活動の学習成果を共有する。				総探	1月		2	○	○	○								

合計時数 138